

## 生ごみを資源に “コンポスト” という選択

家庭から出るごみの中で多くを占めているのが生ごみです。この生ごみを減らす方法の一つがコンポストです。

コンポストとは、生ごみなどの有機物を微生物の働きで分解し、堆肥にする仕組みです。コンポストはごみの減量だけでなく、消費生活を見直すきっかけにもなります。生ごみを分けていると、「まだ食べられたのでは？」と食品ロスに気づくこともあります。日々の買い物や食材の使い方を見直すきっかけとなり、消費生活を考えるうえでも意味のある取り組みです。また、ごみは捨てれば終わりではなく、回収や焼却にも多くの費用がかかっています。生ごみを減らすことは、社会全体の負担を減らすことにもつながります。



最近では、家庭で取り入れやすいコンポストも増えてきています。

### ・バック型コンポスト

- ① コンポストバックに、基材を入れます。
- ② 生ごみを投入し、基材を被せよく混ぜます。
- ③ 3週間寝かせて熟成させる。その間、2日に1度程度混ぜます。
- ④ 堆肥が完成。出来た堆肥と土を1:1くらいの割合で混ぜ、園芸などに使えます。



### ・キエーロ

土に生ごみを埋めて分解するコンポスト。

太陽の光を通す透明なふたと、風を通すサイドの隙間が特徴で、土の中に住む土壌生物が、夏なら3~4日、冬は10日ほどで生ごみを分解してくれます。生ごみを入れ続けても中身の土がほとんど増えない“消滅型”で、コンポストにつきものの基材交換をする必要がありません。手間が少なく、ランニングコストゼロです。虫や臭いの心配が少ないところも良い点です。

この他にも、庭置き型、木枠型、密閉式バケツ型、電気で生ごみを処理するタイプ、など色々あります。

稲城市では「家庭用生ごみ処理容器」購入費の助成制度もあります。詳細は稲城市ウェブサイトをご覧ください。

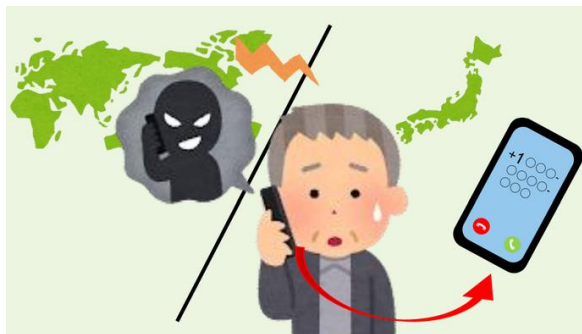


「買って、使って、捨てる」だけでなく、「資源を循環させるくらし」を考えてみませんか？

## 海外からの不審な電話にご注意ください！

海外からの知らない国際電話が増えています。「+1」や「+44」など、「+」から始まる電話番号は海外からのダイヤル番号になります。

心当たりのない国際電話は詐欺の電話である可能性が高いです。怪しい電話には出ない、折り返さないようにしましょう。



### <事例>

- ・最近、「+1」から始まる国際電話が多くかかってくる。電話に出ても無言だった。国際電話の受電を拒否する設定をしたいがどうしたらよいか。(60歳代)
- ・自動音声で数時間後に電話が使えなくなるという不審な電話があった。「1」を押せと言われて押したら、電話口に出た人が、名前と生年月日を聞かれて答えたところ、間違いだったと言われ切られた。着信履歴から海外からの着信だと知った。どうしたらよいか。(80歳代)

### <助言>

★もし電話に出てしまった場合、個人情報絶対に伝えず、すぐに電話を切りましょう。

★国際電話を利用しない方は、利用休止申請等をお願いします。

【固定電話】国際電話不取扱受付センター(無料)電話:0120-210-364

【携帯電話】携帯電話端末やOSによっては発着信の設定が可能です。携帯電話会社が提供するサービスの利用も検討しましょう。



★不安に思った場合や個人情報を伝えてしまった場合は、すぐにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(消費者ホットライン 188)。

総務省が実施している「迷惑電話対策相談センター(でんわんセンター):電話 03-6162-1111(平日 10時~17時)」でも受け付けています。

被害の相談は警察でもできます(警察相談専用電話「#9110」)。

クーリング・オフなど契約に関する相談は・・・

### 稲城市消費生活センター

稲城市百村 2111 番地

パルシステム生活協同組合連合会稲城事務センター3階  
相談電話 042-378-3738

月~金曜日(年末年始・祝日除く)

午前9時30分~正午、午後1時~3時30分

